

自民党の暴走 **STOP!** 日本共産党

横浜のホットな市政問題について、**自民党**と**日本共産党**の発言などを、
 予算議会を中心に比較してみました。

市民アンケートにご協力をお願いします

1 カジノ誘致

横浜市はカジノ誘致に名乗りを上げ、本年度予算にそのための検討調査費1000万円を計上。
 市長「(カジノは)大きな経済効果や税収効果、雇用効果などが見てとれます」(2014年2月本会議)

カジノを積極的に推進

- 「沖縄や大阪はすでに検討も済み、(カジノ)合法化の暁にはいつでも誘致できるように体制を整えている。横浜は出遅れ感がある」(2012年予算特別委員会)
- 「カジノを含む統合型リゾートについて、海外の事例を見ても莫大な経済効果が見込めるわけで、積極的に検討すべき」(2013年12月本会議)
- 「(合法化)法の状況の見通しがたっていない時期から、専門家の意見を聞き、視察など研究を行い、市当局へも検討を行うよう働きかけてきた」(2014年2月本会議)

刑法違反のカジノに予算はダメ

- カジノは刑法185条186条が禁じる賭博行為を行う賭博場であり、「それを承知でカジノを含む統合型リゾートの誘致に予算を計上することは、税金の使い方として許されないと指摘」(2014年2月本会議)
- ギャンブル依存症などの社会問題を引き起こすことから、「経済波及効果、税収効果が期待できるからといって賭博罪に問われるカジノを合法化しても良いと考えるのか」(2014年2月本会議)
- 銀行の分析によれば経済的にプラスよりもマイナスの影響の方が大きく、さらに24時間型のまちづくりを前提としているカジノは環境未来都市を目指す横浜の施策と相反すると指摘。(2014年3月予算特別委員会)



2 新市庁舎

新市庁舎整備基本計画は、北仲通南地区に、地上150mの超高層の新市庁舎を2020年の東京五輪までに建設・移転するもの。総事業費約630億円。
 市長「今回お示したスケジュールに従って、強い決意で事業を推進」(2014年2月本会議)

早急な整備を要望

- 「国際都市として内外に開かれた庁舎を早期に整備されたい」(自民党の2013年度予算要望)
- 「新市庁舎整備や(中略)については、2020年東京オリンピック・パラリンピックを視野においた整備が必要」(2013年10月決算特別委員会)
- 「新市庁舎の整備は、わが党でも早急に整備することを要望してきたところ」(2014年2月本会議)

北仲通南地区での計画根幹が崩れた

- 賃貸床の整備をやめ、北仲通南地区選定の優位性であった賃貸収入がなくなったことで、「基本構想の根幹が崩されたわけですから、これをベースに基本計画を立てることは間違い。北仲通南地区に建設する基本構想そのものを白紙撤回し、最初から考え直すべき」(2013年12月本会議)
- 「今後人口減少や高齢化社会をむかえることや、市民に身近な区役所の機能を高めるべきであることから、大きな市役所は必要ないと主張」(2014年3月予算特別委員会)

そんなにでかい、巨大な施設が必要なのか



2009年に50億円かけて耐震補強工事済みの現市庁舎。「今後50年間は使える」と市長が太鼓判。

現状

自民党

VS

日本共産党

3 中学校給食

全国8割の中学校で実施されている中学校給食。政令市でやっておらず、やる計画もないのは堺と横浜だけ。市長は「横浜では家庭弁当が定着している」「保護者の方がつくる家庭弁当にはよさがある」と、中学校給食実施を拒否しています。

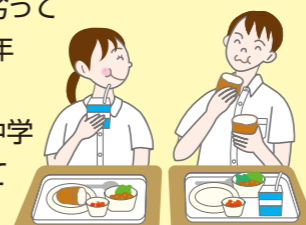
家庭弁当に有効性

- 「親子の会話のひとつ、あるいは絆を確認し合う機会として、家庭弁当に有効性がある」
- 「今後も他都市の動向に惑わされることなく、家庭弁当のよさを見つめつつ、子どもたちのために、一定の結論を早い時期に出す機会がある」(いずれも2014年3月予算特別委員会)



学校給食法、食育推進計画に背くのか

- 給食を中学まで拡大した1956年改正学校給食法の改正趣旨では「心身とも旺盛な発達段階にあるからこそ、給食が重要」と書かれていることを強調。
- 2010年制定の食育基本法に基づく食育推進基本計画に「学校給食の一層の普及を促進する」とあるが、「本市はこの普及の方針には従わないということなのか」
- 中学校給食もなく、栄養教諭も少ないことから、「横浜市が食育の点でも、劣っている」(いずれも2014年3月予算特別委員会)
- 「学校給食法に基づいた中学校給食の実現を求め続けていく」(2014年3月本会議)



4 はだしのゲン

原爆の悲惨さや戦後をたくましく生き抜く少年を描いた漫画「はだしのゲン」をめぐる、学校図書館で閲覧制限などの問題が全国的に起きています。

中学生に不適切な画面や画像

- 「はだしのゲン」を、政治的思想的な色合いが強い、南京事件に関して極めて過剰に反応して書いてある、天皇陛下に対して侮辱的な発言があるなどと批判。(2014年3月予算特別委員会)
- 「はだしのゲン」に過度な表現や中学生の発達段階で不適切な画面や映像があるため、図書選定の責任者の適切な判断を望みたいと教育長に求めました。(2014年3月常任委員会)

学校図書の選定は学校が行う

- 「はだしのゲン」は学校が図書選定の参考にしているという全国学校図書館協議会の基本図書目録に入っていることを確認した上で、これまで通り、同協会の図書選定基準を参考とする対応を行うのか確認。教育長は「変えるつもりはない」と答弁。(2014年3月常任委員会)
- 学校では図書選定委員会などを開き、学校長の承認を経て図書を選定していることを、教育長に確認。(2014年3月予算特別委員会)

